

月/日	/ ~	/	/	/ ~ /	/	
	入院日(手術前日)	手術当日	帰室後	術後1日目	術後2~4日目	術後5~8日目(退院)
達成目標	入院から手術までの検査、治療、処置など経過を理解できる 安全な入院生活を送ることができる 安心して手術に臨むことができる		術後の血圧、脈、酸素量が安定する 痛みのコントロールができ、術後1日目に歩行できる		食事がスムーズに食べられる 発熱などの感染兆候がない 行動範囲が広がられる	
治療処理 薬剤 リハビリ	今までに内服している薬は、看護師へお渡しください 医師の指示に従って内服します 眠れない時は睡眠剤をお渡ししますので、お知らせください 	医師の指示に基づき朝の薬を内服します 1例目の方は手の甲に痛み止めのシールを貼ります 1例目以外の方は病棟で点滴をして手術室に向かいます 術前に術衣・弾性ストッキングを着用します 術前はショーツ、術後はオムツを着用します	手術後は点滴や尿の管が入った状態で部屋に戻ってきます モニターや酸素マスク等をつけ、全身の状態を観察します 酸素は覚醒状況により終了します	経過を見て、モニターを外します 痛み止めの内服薬を使うことができます 	術後2日目に、食事が5割以上摂り取れたら点滴を抜きます	退院基準 創部の異常、感染がなく、日常生活を送れる 退院後の生活について理解できる 婦人科外来にて退院前診察を行います
検査	手術前に必要な検査が外来で終了していない場合は追加の検査を行うことがあります			採血があります	検査を行う時はお知らせします 	
活動 安静度	制限はありません		特に制限はありません 手術時間までにお手洗いを済ませておきましょう	ベッド上安静です 麻酔から覚めたらベッド上で足を動かしてください	術後初回歩行は看護師と一緒にいきます。その後問題なければ、病棟内は自由です 病院内は自由です	
栄養	夕食までは食事ができます それ以降は食事はできません 下剤内服により下痢になるため、水分は多めにとってください 	水分は 時まではとることができます	食事、水分はとれません 麻酔から覚めたら、うがいはできます	昼から食事開始になります 流動食から3分粥・5分粥・常食となります		
清潔	お臍の掃除をします 必要に応じて除毛も行います その後に入浴してください 爪を切っているか、マニキュアを落としているか確認します 				看護師にて蒸しタオルで体を拭きます	尿管が抜けて、医師の許可があれば術後4日目からシャワー浴が可能です 
排泄	11時に液体、15時に錠剤の下剤を内服して頂きます		朝、浣腸をします		尿管を抜く予定です	制限はありません 
説明 教育 指導	主治医及び麻酔医師、看護師が手術や麻酔について説明します 看護師が生活上のことなどを聞かせて頂きます 手術のために準備する物 ・大きめのナプキン1袋とショーツ ・薬のみもしくはストロー付きコップ ・ティッシュペーパー 	手術は 時 分 からです ご家族の方は手術が始まる前には病棟へお越し下さい 一緒に手術室へ参ります ご家族の方は手術が終わるまで、待合室で待っていただきます 	ご家族に手術結果を説明します 	術後に痛み・息苦しさ・吐気等がありましたらナースコールを押して下さい	尿管がスムーズに出るように水分を積極的にとりましょう 早期回復の為に手術後から体を動かしていきましょう	退院後の生活について説明します 

